

津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH



2021~2022

例会日/毎火曜日
例会場/ホテル津センターパレス 津市大門7-15
事務所/津市大門7-15
津センターパレス3F
TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/岡部 宏司
幹事/薄井 美弥
E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp
ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/



第2653回例会 2022年6月14日(火) 天候 雨

—— 6月はロータリー親睦活動月間 ——



例会予定

- 6月21日(火) 山口久彦ガバナー補佐ご挨拶
外来卓話 松浦武四郎記念館
学芸員 山本 命様
- 6月28日(火) 年度末報告・会長幹事退任挨拶
18:30~ かに料理「オホーツク」
- 7月5日(火) 会長・幹事就任挨拶
- 7月12日(火) 計画発表1

会長報告

(岡部会長)

- ◆ 本日は、本年度最後の会員卓話となります。栗田会員よりしくお願い致します。
- ◆ ホテル津センターパレスを例会場として5回目となり、食事も短縮例会の中で、通常の食事と持ち帰り食の併用も本日で2回目となります。より良い例会とするためアンケートを配布させていただきました。ホテル側とも意見交換等を重ねていきたいと考えていますので、忌憚のない意見・感想をお願い致します。

進行担当

(奥田副SAA)

国歌斉唱 ロータリーソング 我等の生業

出席報告

(柳谷委員)

6月14日 出席率 42名中 35名 80.95%
5月29日 修正出席率 42名中 42名 100.0%

幹事報告

(薄井幹事)

- ★ 例会食事アンケートの件
- ★ 6月21日(火) 新旧合同理事会開催の件
- ★ 6月28日(火) 年度末最終夜間例会の件

ニコBOX

(穴山委員)

- 岡部 宏司君 本日は、栗田会員による卓話です。例会の中止等で本日にになりました。よろしくお願いいたします。
- 薄井 美弥君 栗田様、本日は卓話よりしくお願いいたします。何度も延期になり申し訳ありませんでしたが、今期の最終会員卓話です。しっかり拝聴させていただきます。ありがとうございます。
- 栗田 明君 卓話の順番が回ってきましたので。よろしくお願いいたします。
- 村木 正二君 栗田さん、卓話御苦労様です！
- 今野信太郎君 栗田会員の卓話楽しみにしております。一番前で寝ないで拝聴致します。

委員会報告《親睦委員会》

(吹戸委員長)

- 年度末最終夜間例会の件

栗田明会員の卓話楽しみにしています！

伊藤 孝行君、飯田 和博君、日南田隆司君
樋口 直人君、何川 高君、奥田 邦雄君
林 裕行君、松田 英明君、刀根 大士君
今西 孝彰君、野地 洋彰君、鈴木 康義君
堀田 智丈君、日比 隆幸君、吹戸 研一君
庄司 正樹君、川喜田 久君、竹内 敏明君
澤田 勝志君、宮崎 吉史君、飯田 聡君
中村 充孝君、伊藤 仁君、山本 哲司君
吉村 哲夫君、海住 禎人君、羽根 昌江君
穴山 将広君

忘れ得ぬ人の話 古賀武夫氏に寄せて

栗田 明 会員

ロータリークラブ入会后、30数年が経過致しました。その間、色々な方々と出会いましたが、その中でも特に忘れ難い人の話を少しさせて頂きます。

佐賀に古賀武夫と云う人がいました。氏は私と同年でしたが、ズバ抜けた頭脳と誰にも真似の出来ない行動力で多勢の人々を魅了し、又、多勢の人々を助きました。

氏は東京外国語大学を卒業後、私の大学とカナダの大学2校とに3年間留学し、国連英検特A級で同時通訳が出来ました。更に、空手道流師範で、世界ランク17位でした。

パリ市内に道場を構え、資金稼ぎにマルセイユのナイトクラブの用心棒をしていました。氏は世界32ヶ国を旅し、現地の人々と交流し、時には現地で暮らしました。文化と文明に対するととても深い知識と見識を備えた哲学の人でもありましたが、それらの知識をひけらかす事は一度もありませんでした。欧州に禅を広めた弟子丸泰然老師の最後の弟子でもありました。欧州から帰国後、佐賀で「地球市民の会」を立ち上げ、全国組織に育て、各地の錚々たるメンバーが多数参集しました。

私は、知り合っただけで早速に親しくなり、氏に促されるまま2度、氏が7年掛けて開拓したタイ北部ルートへ同行し、現地での様々な見聞と氏の行動を通して、人生初の強烈なカルチャーショックを受けました。氏は旅中、村々の無知と想像を超える貧困を嘆き、子供たちへの謂れなき搾取と困窮に憤り、涙し、

しかし、人々には笑顔で丁寧に接し、共に悩み、持てる力全てを傾けて解決の糸口を探りました。英語と仏語と日本語で同時にジョークが言え、一日中冗談を言っただけで周囲を和ませました。結果、多勢の人々を動かし、学校を建て、先生を雇い、寄宿舎を建て、生徒を収容し、数多くの子供たちを救いました。その時の生徒が今、先生になっています。「凡そ、六道凡夫の中に於いて、自身を軽んじ、他人を重んじ、悪をもって己に向け、善をもって他に与えんと思ふ者あり」と。氏は決して聖人君子ではなかったけれど、この文言に近いものがありました。「良い奴から早く逝く」の譬え通り、タイ側の非常に優秀な協力者だったジャンロンも古賀武夫も50代の若さで相次いで逝去しましたが、外務省が当初、私に予言したように氏は10年かけて2000人の日本の若者をタイへ連れて行き、現地を案内し寝食を共にして、多くの若者に多大な影響を与えました。氏の遺した「地球市民の会」はその後大きく飛躍し、現在も国際的に活発な活動を続けています、古賀武夫氏に出逢い、共に行動出来た事は私の大きな喜びと誇りになりました。

